

学校に「嘉代子桜・親子桜」を植樹しました

みんなで大切に育てて、平和の心を育みましょう！

発行・編集 北九州市総務局総務部総務課 電話／582-2102 FAX／582-2345

北九州市は、市民の皆さんに戦争の悲しさ、平和の尊さを伝えていくため、「嘉代子桜・親子桜」の植樹を進めています。

今から約70年前の昭和20年8月9日、長崎市に原爆が投下され、一しゅんにして、町は壊滅的な被害を受け、数万人の方が亡くなりました。

原爆投下時、林嘉代子さん（当時15歳。長崎県立高等女学校4年生）は、爆心地から500メートルほどしかはなれていない城山小学校（当時の城山国民学校）で学徒報国隊員の一人として働いており、他の多くの女学生とともに亡くなりました。

戦後、嘉代子さんの母親の津恵さんは、娘と一緒に亡くなった女学生の慰霊と平和への願いを込めて同小学校に桜の苗木を植えました。その桜は「嘉代子桜」と名付けられ、今は、大木となり、毎春桜の花を咲かせています（植樹された50本のうち、現在6本が残っています）。

長崎市に投下された原爆は、当初、旧小倉市にあった小倉陸軍造兵廠（現在の小倉北区にあった兵器工場）を目標としました。しかし、当日の上空が視界不良であったため、第二目標の長崎市に変更され、原爆が投下されたのです。

このことをかえりみ、北九州市は、平和への願いが込められた「嘉代子桜」に由来する桜を「嘉代子桜・親子桜」と名付け、広く北九州市内に植樹を行い、市民の皆さんに原爆や戦争の悲しさ、平和の尊さを伝えていくこととしました。

※「嘉代子桜」にまつわるお話は、書籍「かよこ桜」に詳しく掲載されています。同書籍は、学校や市立図書館等に所蔵していますので、ぜひお読みください。

※本市は、「かよこ桜・親子桜を広める会」（「嘉代子桜」に込められた平和の願いを全国へ広める活動を行っている長崎の市民団体）から、桜の苗木を提供していただき、植樹を行っています。

2月21日（水）、八幡西特別支援学校の正門横に

「嘉代子桜・親子桜」を植樹しました

この桜をみんなで大切に育てて、平和の心を育んでください。

そして、桜と平和の心を新入生に受け継いでいってください。



「嘉代子桜・親子桜」の植樹実績・予定場所を裏面に記載しています。

～「嘉代子桜・親子桜」植樹実績・予定～

植樹年度	植樹場所	備考
平成21年度	勝山公園（小倉北区）	中央図書館南側
平成22年度～25年度	全市立小学校（132校）	29年度新設校「ひびきの小」を含む
平成26年度	老松公園（門司区）	慰霊塔前グラウンド西側
	足立公園（小倉北区）	忠霊塔前
	文化記念公園（小倉南区）	文化記念体育施設管理事務所南側
	皇后崎公園（八幡西区）	青山市民センター東側
平成27年度	高塔山公園（若松区）	忠霊塔北西側
	全市立中学校（62校）	—
平成29年度	市立特別支援学校（6校）	—
	市内大学（9大学）	—
平成30年度以降（予定）	市立特別支援学校・大学等	—
	小伊藤山公園（八幡東区）	—

※全ての植樹場所に「嘉代子桜・親子桜」の由来を示す説明板を設置しています。

小・中学生等を対象にした本市の平和の取り組みを紹介します！

青少年ピースフォーラム派遣事業

被爆の実情や平和の尊さを学ぶとともに、平和に対する意識を高めるため、小・中学生、高校生の皆さんを長崎市主催の「青少年ピースフォーラム（※）」に派遣し、被爆体験講話の聴講や他都市の参加者との意見交換等を行うほか、本市独自の平和学習を行っています。



平成29年度は、小・中学生20人に参加いただき、7月9日（日）に事前学習会、8月8日（火）から10日（木）まで（2泊3日）長崎市での派遣学習、9月2日（土）に事後報告会を実施しました。

※「青少年ピースフォーラム」とは…

毎年、8月8日・9日、全国の小・中学生等が長崎市に集い、フィールドワークや意見交換などを通じて被爆の実情や平和の尊さを学習し、交流を深め、平和意識の高揚を図るものであり、平成29年度は全国37都市、約400人の小・中学生等が参加しました。

長崎市平和派遣事業

親子（家庭）で平和の尊さを学ぶきっかけづくりとするため、原爆が投下された8月9日に、親子（小・中学生と保護者）を長崎市に派遣し、平和祈念式典や原爆資料館等の見学などを行っています。



平成29年度は、小・中学生とその保護者139組、278人にご参加いただきました。